

Japanese man In NY (ニューヨーク生活)



(Photo: Amsterdam Ave. & W 72nd St.)

《貧乏だけど常連さん Part-1》

今回から Part-1、Part-2 の 2 回に渡って、ニューヨークで節約生活を強いられていた際にお世話になったお店、近所にあった「旨い！安い！多い！」店を紹介したい。但し、雑誌やテレビで紹介されるようなオシャレで品のあるレストランなどとは無縁に等しく、また、かれこれ 10 年ちょっと前の話なので、ここで紹介する店自体が現存しているか定かではなく、ほとんど役立たないかもしれないが、どうかご勘弁を。

まず最初は、Amsterdam Avenue 沿いの West 80th Street と 81st Street の間にあった「KING FOOD」というチャイニーズのテイクアウトの店。この手の店はマンハッタン中のあちこちにあり、ニューヨークに住んだことがある人なら、結構な頻度でお世話になっていたのではないだろうか。

特にランチタイムが狙い目で、10~15 種類ほどのメニューの中から選ぶことができ、25cm 四方ほどの白い発砲スチロール製の器に、片方にライスか焼きそば風の麺類、もう片方に惣菜などを選ぶことができた。野菜不足になりがちだったため、ブロッコリーなどの野菜炒め類をよく注文したものだ。「KING FOOD」では、結局 3 分の 2 くらいメニューしか割割できなかったが、それぞれのメニューも味・量とも満足できる内容だった。ランチタイムはこの他に大きなプラスチックの容器に入ったスープ類か缶ソーダのどちらかを選択できたが、特にワンタン・スープが大好物だった。このセットで当時の値段で 3.50 ドルから 5.50 ドルくらい。今でもそれほど大幅な値上りはしていないと思うが、量ははっきり言ってもの凄く多く、節約のためにランチに半分を食べて、残りを夕飯用に取って置くなんてこともよくしていた。まさに自分のような貧乏人にとって夢のような食材だった。

また、若い黒人たちにも人気があったが、彼らは鳥の手羽や唐揚げ、フレンチフライなどを好んで注文していた様子。そして、気持ち悪くなりそうなほどの大量のケチャップをかけ、店先で旨そうにかぶりついていた光景を幾度となく目撃している。

本当にこの「KING FOOD」にはお世話になった。今でも懐かしいのは、真冬の大雪が降り積もる中、寒さに耐えながら店まで足を伸ばし、アパートに戻るとテレビでアメフトの試合を見ながら温かいワンタンスープをすすったことなど…。日本では、中華料理というとやや高価なイメージがあるが、ニューヨークではチャイニーズ・フードに高価なイメージはなく、本当にあり難い存在だった。

次に紹介するのは、Broadway と West 78th Street の角にあったイタリア人経営の「NEW PIZZA TOWN」というピザ屋。日本と違って向うでは 1 スライスから注文でき、大きさもかなりのもので、何と言っても安かった。よくお世話になったこの店では、シンプルなお店のみのトッピングのものを良く注文したが、当時 1 スライスが 1.75 ドルで、2 枚も食べるとかなり胃が膨れる感じだった。ピザ丸ごと 1 枚注文しても、12 ドルから 15 ドルくらいで、日本のようにトッピングの種類は多くなかったが、まさに「シンプル・イズ・ベスト！」という感じで、味の方は全く問題なく、店内にあったペッパーなどで味付けをして食べていた。

この店では、ピザの他に、ミートソースのスパゲティもよく食べた。サイドにパンとバターが付き、量も充分過ぎるほどで、値段は 6 ドルしないくらいだった。そしてピザやスパゲティを食べる時は、たいがい大好きなルート・ピアーを注文した。ルート・ピアーが嫌いという人も多いらしいが、あの何となく体に悪そうで、どこか薬臭いような独特な味、「これぞアメリカン・テイスト！」という感じがたまらなかった。この店は通りの角にあって立地条件も良かったせいか、ランチタイムの頃は結構な混み具合だった。勿論、マクドナルドやバーガーキングなどにもお世話になったが、安く気軽に食べることができたこの店のピザの味は忘れ難い。

そして、現在は日本でも「Starbucks Coffee」や「Tully's Coffee」をはじめ、カフェ・ブームが続いているが、ニューヨークで貧乏な生活を強いられたながらも、たまにはオシャレなひとときを…なんて時には、カフェに行ったりもした。自分がニューヨーク時代に足繁く通ったのは Upper West にも数件チェーン店があった「Timothy's」というカフェ。中でも、Amsterdam Avenue 沿いの 72nd Street に程近い、作曲家ベルディの銅像が建つ三角形の公園「Verdi Square」の前にあった店によく出入りしたが、特に好きだったのはアーモンド・コーヒーとアーモンド・クロワッサン。アーモンド尽くめでクドそうだが、これが本当に旨かった。

仕事前や 72nd Street の駅を利用する際に良く立ち寄ったが、店の雰囲気も落ち着いた感じで、店員の応対も良く、店内に Jazz なんか流れていたりして何処となくオシャレだった。Broadway と交差する辺りの賑やかな通りに面しているせいもあり、ふと「ああ、ニューヨークに居るんだなあ…」なんて実感させてくれる場所でもあった。この店の先の横断歩道を渡ると、有名な「GRAYS PAPAYA」というホットドッグのスタンドショップがあり、そこも利用したが、ホットドッグは立て続けに食べると飽きが来るため、たまに立ち寄る程度だった。

「Timothy's」は日本進出は果たしていないようだが、またあのアーモンド・コーヒーとアーモンド・クロワッサンを味わってみたい。でも、できれば日本ではなく、ニューヨークのあの場所の「Timothy's」で味わいたいものだ… (次号に続く)。